

平成25年度 果樹の生育状況調査まとめ (常緑果樹)

調査場所 : 農業総合試験場果樹部 平成26年3月1日

樹種名	品種名	年 度	樹勢	発芽期	新梢量	開 花 期 (5月)			着花量	生 理 落 果	着果量	果実横径 (12/2)		果実品質 (2/19)			収穫期	生育状況
						始	盛	終				mm	(%)	着色	糖度	酸度		
早生	日南1号	25年度	並	4/6	並	11	16	20	並	竹多	並	61.4	7.6	10.0	0.70	10/18	温州、「不知火」の発芽は前年より9日程度早く、平年並～やや遅い。開花盛期は品種により差があるが、平年並み。 着花量は並だが一次生理落果が多く、前年より全体的に着果が少ない。 果実肥大はおおよそ平年並で推移している。	
		前年値(比)	並	4/15 -9	竹少	7 +4	14 +2	21 -1	竹多	多	多	58.9	104	9.2	9.6	0.70		10/18
		平年値(比)	-	4/6 ±0	-	8 +3	14 +2	19 +1	-	-	-	63.2	97	8.1	9.4	0.79		
温州	宮川早生	25年度	竹弱	4/8	竹少	11	15	21	並	竹多	竹少	67.5	9.9	10.6	0.97	11/21	着花量は並だが一次生理落果が多く、前年より全体的に着果が少ない。 果実肥大はおおよそ平年並で推移している。	
		前年値(比)	竹弱	4/16 -8	竹少	9 +2	17 -2	21 0	竹多	多	竹多	66.2	102	9.7	9.7	1.00		11/19
		平年値(比)	-	4/7 +1	-	10 +1	15 0	20 +1	-	-	-	68.0	99	9.6	10.0	0.92		
普通温州	青島温州	25年度	並	4/11	並	14	17	23	少	並	少	77.1	8.8	11.8	1.14	12/9	2/19時点の品質(中晩柑)は、糖度は平年並みで、酸度は平年よりも少ない。 低温による葉の障害、落葉等樹体への影響はみられない。	
		前年値(比)	並	4/17 -6	竹少	10 +4	20 -3	23 0	並	多	竹多	69.5	111	9.6	11.6	1.33		12/17
		平年値(比)	-	4/10 +1	-	12 +2	18 -1	24 -1	-	-	-	77.3	100	9.5	10.7	1.05		
中晩生カンキツ	川野夏橙	25年度	並	4/8	並	9	16	24	竹多	竹多	並	99.4	10	11.1	1.49	1/16	低温による葉の障害、落葉等樹体への影響はみられない。	
		前年値(比)	並	4/9 -1	竹少	7 +2	16 0	22 +2	多	多	多	102.0	98	9.7	10.6	2.10		1/29
		平年値(比)	-	4/3 +5	-	8 +1	14 +2	20 +4	-	-	-	101.6	98	9.9	10.5	1.63		
不知火	不知火	25年度	竹弱	4/6	並	14	16	22	竹少	竹少	竹少	92.2	9.9	13.3	1.11	1/16		
		前年値(比)	竹弱	4/15 -9	並	13 +1	18 -2	23 -1	竹少	並	竹少	83.2	111	9.3	13.9	1.78		1/16
		平年値(比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86.0	107	9.7	13.4	1.27		

- 注) 1. 表中の記入は簡潔にし、程度の表現には(良、並、不良)、(多5~少1)などを用いる。
 2. 時期の記入は期日のほかに、平年比、前年比を、早い場合は(-0日)、遅い場合は(+0日)で表示する。
 3. 果実の肥大、着色、品質、収量は平年値±4%を並、>4%を良、<4%を不良とし、良や不良の場合平年値の何%かを記入する。
 4. 平成19年度に興津早生から宮川早生(福岡3号)6年生樹に変更。宮川早生の前年比、平年比は18年度までの興津早生の値を含む。
 5. 平成18年度に青島温州の調査樹を26年生から7年生樹に変更。青島温州の平年比は、17年度までの成木で調査したデータを含む。
 6. 不知火は露地栽培の数値。平年値は平成17年度から24年度までの平均。
 7. 日南1号は果実肥大10/15、果実品質10/20、宮川早生は果実肥大11/15、果実品質11/20、青島温州は果実肥大12/2、果実品質12/20の数値